

問 E Q(心の知能指数)教育の導入

協調性や共感力、思いやり、創造力、状況把握能力など、日々の生活に必要な能力である非認知能力のEQ(心の知能指数)。

これを高めるための教育を市職員研修や、教職員研修、学校教育の中に取り入れてはいかがか。

答 E Q教育を踏まえた研修や学習に努める

市職員は、行政の円滑な運営に資するため、多様な研修等を通して、EQ教育の視点を踏まえた人材育成に取り組む。同様に、教職員についても日々の研修の充実を図っていく。また、「特別の教科道徳」の学習の中で子どもたちの「心の知能指数」を育てていく。



中山廣子 議員
(公明党)

問 不登校の児童生徒の支援の推進

文科省が発表したCOCOLOプランを受けて、以下を聞く。

①「保護者の会」を設置しコーディネーターを派遣。②学校内に落ち着いて学習できるサポートルームを設置。③オンライン指導できる指導体制を確立。④学びを学校の成績に反映すること。

答 不登校児童生徒への支援を推進していく

①②近隣市町の優れた取組について情報収集していく。③オンライン授業を希望する生徒に対しオンライン授業を提供している。④定期テストについて、教育支援センターや保健室等教室以外の場所でテストを受けることが可能で、その結果を成績に反映している。



問 県の子育てギフトの対応は

県は、子育て世帯支援のため、「コバトンベビーギフト」の名称で、5月10日から申請受付を開始した。当事業の取組状況は。

当事業対象世帯に確実に支給するために丁寧な対応が重要である。周知及び配布をどのように考えているのか。

答 周知漏れがないよう対応する

当事業は、市の「新生児誕生お祝い事業」に県が上乗せで最大1万円分の子育て用品等を配布するものである。案内用のチラシは出生届提出の際に直接手渡し、説明して配布している。今後は、赤ちゃん訪問時や4か月児健診などの機会を捉え周知の徹底に努める。



江原浩之 議員
(白和)

問 白岡における梨の現状と今後は

梨栽培面積の推移と梨農業従事者の現状と支援策は。

梨栽培の新たな手法として、隣り合う樹と樹を接ぎ木で連結する「ジョイント栽培」がある。今後、梨の栽培手法と圃場拡大に向けた取組をどのように考えているのか。

答 柴山地区での梨団地の整備に取り組む

梨の栽培面積は、10年で20ヘクタール減少し、従事者も減少している。市は農機具、苗木、防除ネットの購入に対する支援を行っている。既にジョイント栽培を取り入れている農家もあり、市では柴山地区の梨団地の整備に向けた取組を行っている。



梨のジョイント栽培